



みんなでチャレンジ!

第11号 令和5年11月9日 呉市立広小学校

○ 教育目標「学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい ～みんなでチャレンジ～」

広小学校 創立150周年記念式典

10月26日(木)に、「広小学校 創立150周年記念式典・創立記念講演」が開かれました。

子供たちは、これまでの広小学校の伝統と歴史を大いに実感するとともに、これからも一人一人が広小学校のことを大切にしていきたいという思いを強くしていました。

たくさんの地域の来賓の皆様の前で、児童発表を行い、心が動き、感動のある記念式典となるように、子供たちはよく頑張ってくれました。

寺本有伸教育長による祝辞では、広の地域の人々が大事にしてきたまちづくり、人づくりに対する熱い思いの象徴である「教育第一の碑」にふれたお話をしてくださいました。

また、創立記念講演ということで昨年度まで本校に勤務していた港町小学校教頭の高谷健先生に「広の歴史を学ぼう」という演題で子供たちにお話をさせていただきました。子供たちが広のまちの歴史に関する興味関心を深める楽しい時間となりました。



寺本有伸教育長による祝辞



学年代表による児童発表



6年生による児童発表・合唱「地球星歌」



港町小学校教頭・高谷健先生による記念講演

校長による創立150周年記念式典・式辞

本日、本校の開校150周年記念式典を開催するにあたり、呉市教育委員会教育長・寺本有伸様、呉市教育委員会教育委員・佐々木元様をはじめ、多くのご来賓の皆様におかれましては、ご多用のところご臨席いただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。

さて、広小学校の歴史は大変古く、今年で150歳になりました。明治6年、広村に、仰高舎（ぎょうこうしゃ）として創設され、元号でいうと明治、大正、昭和、平成、令和と移り変わり、150年という長い年月が流れました。

実は、昭和28年の創立80周年のときに、現在の校章と校歌となりました。

校章は、その当時の10代目の校長である青野武夫先生が作成されました。豊かに伸びる竹をイメージしています。また、旭日（あさひ）もイメージしており、その二つの素材を組み合わせ、八角（はちかく）を基本の形として配列し、中心に「広小」と校名を入れています。八角形の八は開運を示し、旭日と竹は縁起をよろこぶものとして、児童の幸せを願って先生はつくられたそうです。

また、校歌は、当時呉市史編纂室（へんさんしつ）で働かれていた田口様が歌詞を作り、呉阿賀高等学校の木下先生が曲を作られました。「教育第一」の伝統を引き継ぎ、ますます発展していく新しい世代を表現していただいたそうです。昭和28年3月15日の創立80周年記念式において、はじめて全校児童によって披露されたそうです。

校歌の歌詞に、「あとつぐものに ほこりあり」とあります。開校以来、11,692名の卒業生が巣立っています。先輩方が築かれた広小学校のよき伝統を引き継いで、学校や郷土を誇りに思うひろっこになってください。

また、校歌の歌詞に「明るく正しく のびてゆく われらの胸に 希望あり」とあります。広小学校の教育目標である「学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいのひろっこ」となって、これからもいろいろな希望をもって取り組んでいきましょう。



式典でも、この後、校歌斉唱がありますが、これまでの広小学校に携わってきた先輩方、先生方、いろいろな方の思いを感じながら歌ってくれたら校長先生はうれしいです。

広小学校の皆さん。一人一人が創立150周年の、この記念の年をしっかりと心に刻み、10年後、20年後、さらに50年後の創立200周年の年には、広の町、呉、広島、日本、世界の中心となって活躍しながら「この広小学校で学べてよかった」と胸を張って言える立派な大人になってくれることを校長先生は心から願っています。

これからも、みんなでチャレンジしていきましょう。

最後に、ご臨席をいただきましたご来賓の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

